

生きがい公社では、町保健福祉課と共催で、技術講習（S.P事業）の一環として介護教室を1月から2月にかけ4回行い、72人の皆さんが参加しました。

高齢者の体調にあつた食事の工夫について、栄養士から講義を聞いたり、実際に調理実習を行い、男性会員も女性会員の中に入り一生懸命取り組みました。

また実技実習では、シーツや寝衣交換、車イスなどの使い方を実践で学び、利用者と交流を持ちました。終日には、特別養護老人ホーム第二松丘園や、デイサービスセンターを見学し、利用者と交流を持ちました。

参加者はこの教室を終えて「いざという時に介護保険を利用する方法がわかつたり、心構えができました」と話していました。



伊藤雅美さん
(橋場)

4月1日、教育委員会委員に伊藤雅美さん（再任）が任命されました。

教育委員会委員は、教育行政推進のため活動し、現在5名（高橋教育長を含む）で、任期は4年です。

大木弘之さん（篠本二区）、鈴木信夫さん（小川台）、伊橋徹さん（五之神）にも活躍をいただいています。

春の全国交通安全運動
4月6日(土)～15日(月)



その違反 小さな瞳が見つめてる

教育委員に伊藤氏再任



放流された稚魚

生きがい公社では、町保健福祉課と共催で、技術講習（S.P事業）の一環として介護教室を1月から2月にかけ4回行い、72人の皆さんが参加しました。



熊野神社で神楽奉納

～12の舞にたくさんの見物客～



8番目の「田うない」の舞

宮内熊野神社で3月10日、光町指定無形文化財の「熊野神社神楽」が奉納されました。この神楽は、太々神樂と呼ばれ、江戸後期のものといわれています。「天狗」から「七五三縄」切」までの12の舞が、宮内神楽保存会の皆さんによつて演じられ、国家安穏、皇室弥栄、農作業の安全と五穀豊穣、産業発展を祈願して春季大祭に毎年奉納されているものです。

この日は、好天にも恵まれ、たくさんの見物客で境内は賑わいました。

天候にも恵まれた3月7日、栗山川親水公園「栗山川せせらぎ広場」で、サケの稚魚14万8千尾が放流されました。

この放流事業は、昭和51年度から千葉県が始めたもので、現在は栗山川漁業協同組合の皆さんの協力のもと、横芝町と協力して続けているものです。

また、サケが放流された川に戻ってくる確率は100分の1と言われていますが、栗山川はサケが帰る南限の川として知られ、今年度は341尾が捕獲されています。

栗山川にサケの稚魚

14万8千尾を放流

生きがい公社で 介護教室を開催

生きがい公社で 介護教室を開催